

## 緊急入院された方の経過報告。

### 「現代医療の恐ろしさを痛感して」 徳弘徳子 78 歳

2016 年 5 月 9 日

5 / 2

庭の草取りをしました。途中休憩を取り、2 時間位の作業でした。その間ポカリスエットと水を充分補給したつもりでしたが、何しろ老朽のポンコツは吸収不能に落ち入っていたのでしょうか？

5 / 3

異常はありませんでした。

5 / 4

昼頃より胸焼け、足がジンジン、肩、首が凝る、少し横になると不整脈があり不調を覚えましたが、ゴールデンウィーク中で、松本先生にお電話は掛けられませんでした。

18 : 34 血圧：上が 196、下が 102

脈拍：67

カルスロット 20mm を服用しました。

5 / 5 ~ 5 / 6

5 日の 12 : 42、血圧は上が 142、下が 74 と正常になりましたが、脈拍は 59、嘔吐が始まり、胃は何も無いのに口を漱ぐだけで吐き、足も硬直が（骨格筋が収縮）起こり歩行困難に、119 番に電話しました。日赤病院へ搬送されたのは午前 2 時頃だったと思います。ICU で点滴を受け、尿道へ管を挿入され、採血が始まりました。5 / 5、5 / 6 と 2 日間で点滴は間断無く、採血は 20 回、点滴に何を入れているか見ようとするが、動きを拘束されている為見づらく、1 回だけ大きな字のブドウ糖だけ判りましたが、後は何を点滴されたか不明です。お薬手帳と服用中の薬を持参させられ、没収されました。

5 / 7

内科病棟に移され、まだ腹水が溜まっているのでと産婦人科へまわされました。医者は「子宮はきれいです、腹水は自然に出たでしょう」と言うが早い「癌検診の為」と内膜の細胞を採取されました。「後日連絡します」と言うので、

私は「その必要は無い、もし癌でも放置する、もう死んでも本望」と捨て台詞を残して退室しました。病室に戻り担当内科医に「今日で退院させて戴きます。息子も仕事があるのに、看護師が「何時につきますか？」と今にも死にそうな口ぶりだったため、慌てて出たと怒っておりました。強制退院です。」と五万円内金を入れ出しました。

病室で確認した事実は、薬漬けの果て手術を施して、苦痛の為何度も繰り返すナースコールを避ける必要から、痛み止めと睡眠導入剤を配って回っているということでした。現代医療の恐ろしさをこの目で確認しました。たった三日でしたがごっそり痩せ体重も40kg、目は落ち込み左手指は痺れ、乙字湯エキスは没収されたので便秘になりました。足指先は冷え、口中は乾く、肩、首は凝る、発作性高血圧の為、この日は足湯して寝る。(薬湯に入る力無し)

5/8

22:21 血圧：上が176、下が89 脈拍：59高め。

5/9

やっと朝、薬湯に浸る。漢方薬とアシクロビル中止で、耳鳴りは一度もありませんでした。(免疫抑制作用)